

よころ 県P連だより

編集 徳島市北田宮1丁目8-68
発行 〒770-0003 ☎088-633-1105
徳島県PTA連合会

ホームページアドレス
<http://tokukenpta.com/>

「PTAは学校の応援団」

徳島県PTA連合会会長 谷 明彦

日頃、会員の皆さまには徳島県PTA連合会の活動にご理解とご協力を賜りお礼申し上げます。徳島県PTA連合会は児童・生徒の健全な成長を願い、基本方針・活動目標に基づき活動しています。

日々、多くの変化する社会状況の中、私たちの子どもたちを取り巻く環境は大きく変わっています。様々な問題を把握し、適切な対応を図り、未来を担う児童・生徒が健やかに成長できる環境を整えていくことは、私たち大人の責務であり、各会員には、研修等をとおして趣旨の徹底を図り、家庭、学校、地域、関係諸機関と連携する必要があると考えています。

PTAは、学校の応援団であ

り、熱意のある人の周囲には熱意のある人が集まると思つていい

ます。PTA活動は、何をして

くれるかではなく、何が出来

かを考え、共に創り、知恵を出し、汗を流し、行動する事が大切ではないでしょうか。

私たちは、これから地域社会において、子どもたちの教育環境をどのように創り育て、支

えていくかを考えていかなければなりません。

学校は、子どもたちが毎日、笑顔で楽しみにしている場所であつてほしいと願っています。

社会で生きしていくのに必要なルールや、マナーを守る規範意識の大切さ。本来、このような「しつけ」を含めた子どもたちの教育は家庭、学校、地域で育むものではないでしょうか。

子どもたちが、安心して生活できるように、安全な教育環境・社会環境の整備に努め支援していくには、PTAは必要であり、組織の活性化が大事と考えています。

結びとなりますが、徳島県PTA連合会は、次の時代を担う子どもたちを見守り支えたく考えています。今後もPTA会員、皆さまにはご理解ご協力くださいますようお願い申し上げ、ご挨拶いたします。

日本PTAが、新たな支援事業として、「日本PTA心のきずな61教育支援基金」を創設しました。この事業は、東日本大震災の被災地の子どもたちのことを忘れることなく、新たな支援の手を差しのべるとの思いを込めたものです。

日本PTAが「教育助成支援事業」として自ら運営支援することにより、被災地の子どもたちの教育環境を保全・維持したい全な育成に寄与することを目的とします。

日本PTAを構成する四十七都道府県と政令市から六十一地方協議会の会長が出席し、東川副会长より今年度開催された長崎大会の報告や次年度開催の札幌大会等について報告がありました。

日本PTA会館で協議会が開催されました。尾上浩一会長より、第六十四回日本PTA全国研究大会を徳島県(四国ブロック)にて平成二十八年度に開催すると徳島県PTA連合会に委任状が渡されました。

日本PTAを構成する四十七都道府県と政令市から六十一地方協議会の会長が出席し、東川副会长より今年度開催された長崎大会の報告や次年度開催の札幌大会等について報告がありました。

日本PTA会館で協議会が開催されました。尾上浩一会長より、第六十四回日本PTA全国研究大会を徳島県(四国ブロック)にて平成二十八年度に開催すると徳島県PTA連合会に委任状が渡されました。

「日本PTA心のきずな61教育支援基金」の創設

日本PTAが、新たな支援事

業として、「日本PTA心のき

ずな61教育支援基金」を創設し

ました。

この事業は、東日本大震災の被災地の子どもたちのことを忘

れることなく、新たな支援の手

を差しのべるとの思いを込めた

ものです。

日本PTAが「教育助成支援

事業」として自ら運営支援する

ことにより、被災地の子どもた

ちの教育環境を保全・維持したい全な育成に寄与することを目的とします。

日本PTAが「教育助成支援

ブロック別PTA活動紹介

子どもたちの健やかな成長と笑顔を目指して! ～親の背中は、子どものうつし鏡～

★次号のブロック別PTA紹介は、名西郡P連、勝浦郡P連、吉野川市P連です。

中部ブロック 板野郡PTA連合会

会長 春藤春海

板野郡PTA連合会は、松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町の5町のP連で組織され、小学校は17校、中学校は6校で今年度の児童・生徒数は8,471名です。

各単Pは、複数の専門部で構成され、様々なPTA活動が行われています。専門部の名称には多少の差異がありますが、「広報」「体育」「補導」「人権教育」「研修」等が存在しています。

板野郡P連では、以前に球技大会が行われていましたが、現在は、5町それぞれの球技大会のみで、郡大会はありません。各町では6月下旬から7月初旬の日曜日に球技大会を開催し、その内容は町によって異なります。

従来通り、男性がソフトボールで女性がバレーを実施しているのが3町です。男女ともにドッヂボールが1町、男女混合のソフトバレーが1町となっています。



男女混合ミックスソフトバレー
員が体育館に集うため、応援に熱が入り盛り上がると好評です。

各単Pの年間活動としては、「広報紙の発行」「体育大会」の他に「古紙回収」「ベルマーク集計」「校区内巡回」など多種多様です。その中でも、特徴的なものをいくつか紹介します。

南部ブロック 阿南市PTA連合会

会長 清田和史

私たちは、「光のまち・阿南」「野球のまち・阿南」として有名な阿南市PTA連合会です。役員(保護者)と教員が一体となり、平成26年度の重点活動スローガン「子どもたちの未来と笑顔のために」

～みんなで参加 活力あるPTA活動～ を念頭に「PTAのまち・阿南」を目標に日々活動をおこなっています。

また、昨年度は、地方都市で初となる日本女性会議が阿南市で盛大に開催され、私たち阿南市PTA連合会もいろいろな形で参画をしました。全国からたくさんの方が阿南市を訪れ、素晴らしい大会に私たちもお手伝いできることをうれしく思っています。

さて、阿南市PTA連合会は、小学校22校と中学校11校で、生徒数6,317名・教員数583名で構成されています。県下でも2番目に多い組織となっています。

また、阿南市PTA連合会は、家庭教育部・人権教育部・保健体育部・健全育成部の4つの専門部から構成され、それぞれの専門部が積極的に企画から運営まで携わり大きな成果を上げています。本年度も、家庭教育研修会が7月22日(火)に「災害への備え～大切な命を守るために～」の演題で盛大に開催することができました。近年、東海・東南海・南海の三連動による大地震の発生が危惧されている

特色ある単P活動

◇親子ふれあい

学年ごとに親子で楽しめる様々な活動を計画・実践する。

◇バザー

9月下旬の土曜日に行う。約400人の参加がある。

◇研修会

今年度は工場見学を予定している。約70人の参加。

◇古紙回収

年間4回実施。図書購入費用として活用している。

◇餅つき大会

日曜日に行う。地域の高齢者に6年生が訪問して配る。

◇親子対抗つなひき大会

6月の日曜参観日に行う。保護者100人、児童150人参加。

◇大島青松園との交流会

保護者希望者と教職員で参加。施設見学やカラオケ大会。

◇めだか市

夏休みの夕方から。地域ごとに模擬店を出店。花火。

◇人権文化展の作品作り

人権教育推進部が製作。展示は11月下旬。

◇藍栽培と藍染

藍の定植、草刈り、収穫と藍染めの支援。

◇フェスティバル

学年ごとに保護者が出し物を企画。

空気鉄砲や宝探しなど。

模擬店を運営。参観日に実施。

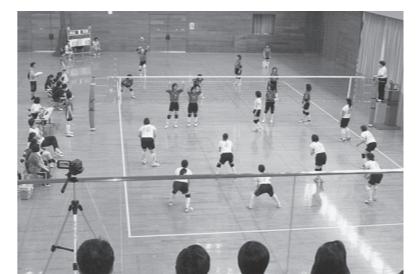
◇親睦会

講師を招聘して親子でのづくり体験。サンキャッチャー作り等を実施した。約100人参加。



中、過去の大地震から学ぶ大変貴重な講演を聴くことが出来ました。

また、7月6日(日)には阿南市PTA連合会主催で毎年恒例の阿南市P連球技大会が開催されました。ソフトボールは29チーム、バレーは30チームが参加して、両種目ともに4つのゾーンに分かれトーナメント方式により試合をおこないました。大会当日、ソフトボールは途中から雨に見舞われて厳しい状況の中、どの試合も白熱した内容で進行して、大きな事故もなく無事に大会を終えることができました。



また、バレーでは湿度が高い中、熱戦が繰り広げられました。この素晴らしい球技大会を振り返りますと、両競技ともに阿南市ソフトボール協会並びにバレー協会を始め、運営を任せられたPTAの役員(特に、保健体育部員や各ゾーンの責任の学校)、そして各学校の出場選手とその選手のサポートに徹したPTAの役員、それぞれの立場でベストを尽くし一致団結して取り組んだ結果あります。心から、感謝申し上げます。

特に、PTA会員数が少ない小規模校では、選手集めから大変であつ

たと思いますが、いざ試合が始まった時「お父ちゃんやお母ちゃん」の真剣な表情や最後まであきらめない姿は、子どもたちにも十分に伝わったと思います。私は、開会の挨拶で「この球技大会を通じて、PTA会員が相互に親睦を図ることが大切であります。」と申ましたが、バレーの決勝戦で接戦の末、勝利した学校の選手や応援していた保護者の瞳が潤んでいて、自然と流れ落ちたうれし涙を見たとき、その学校の代表として誇りを持ち勝負にこだわるところも大切であると感じました。



阿南市PTA連合会は、

ソフトボール大会

各都市PTA連合会が主催している球技大会の中で、数少ないソフトボール大会をおこなっています。また各学校のPTA要望について柔軟に対応し、バレーとソフトバレー両種目を同日に開催しています。このような、球技大会を通じて、「素晴らしい感動と共感できる喜び」をもっとPTA会員に味わってもらえる大会にしていたらと思います。

本年度は、10月下旬に健全育成研修会を健全育成部が中心となって開催し、来年2月7日には人権教育部が主体となって阿南市人権教育研究大会にも積極的に参加する予定となっております。

また、今後も阿南市PTA連合会は様々な活動に積極的に参加し、子どもたちの健全な成長を願い、社会や教育環境の変化に迅速に対応し、学校・家庭・地域と連携してPTA活動を推進して参ります。

「阿南市PTA連合会、ガツツだぜ!!」



ソフトバレー大会

西部ブロック 美馬市PTA連合会

会長 尾形次郎

美馬市は平成17年に旧美馬郡の美馬町・脇町・穴吹町・木屋平村が新設合併、市制施行して誕生しました。美馬市PTA連合会も平成17年に結成され、現在、13小学校、6中学校と12幼稚園(小学校と連合の組織7園を含む)で構成されています。

毎年、美馬・穴吹・脇町・木屋平の各支部ごとに開催している球技大会の様子について紹介します。

脇町支部は例年10月か11月の日曜日にミックスソフトバレーの大会を行っています。昨年度は10月27日(日)にうだつアリーナで開催しました。9月の監督者会議で細かいルールの打ち合わせを行い、親睦として全員が楽しめるようなルールに変えて行うことになりました。当日は21のチームが3コートに分かれて熱戦を展開しました。午後からは、各コートの優勝チームによる決勝リーグを行い、盛会の内に終了しました。今年度は10月26日(日)に開催する予定です。

美馬支部は、美馬中学校運動場・体育館を会場とし、美馬町内小学校5校・中学校1校のPTA会員が、親睦を図るために実施しています。例年10月の第4日曜に、男子会員はソフトボール、女子会員はバレーを行っています。ソフトボールはほとんどぶつけ本番ですが、バレーは大会前に練習試合等積極的に交流を行っています。大会当日は、男女ともに力のこもった熱戦が繰り広げられています。会員の減少に伴い選手集めに苦慮するチームもありますが、平成29年4月の小学校5校の統合を控え、それまでは各PTAとも伝統を守ろうと頑張っています。



ミックスソフトバレー大会

単位PTA会長研修会

8月2日(土)に徳島県立総合教育センターにおいて、徳島県PTA連合会の小学校・中学校のPTA会長さんを対象に研修会を開催いたしました。当日は、台風12号のため開催の中止も協議しましたが、講師の方は東京から飛行機に乗っており電話連絡等もつかず、また、すでに会場に向かい連絡のつかない方がいたため安全を第一に考え個人の判断にお任せし研修会を開催することにしました。

7月に日本PTA全国協議会会長・事務局長会があり、文部科学省から「土曜日や放課後等の教育支援について」の説明がありその資料を研修会で配布及び説明しました。徳島県内でも土曜授業を開始しているところもありますが、県教育委員会の見解を伺うため、今年度の県教育長要望の項目に入れました。

研修①は、「新聞活用授業のいま」と題し、徳島新聞者の三谷部長さんからお話を聞きました。実際にNIE教育を取り入れた学校で成績が上がったと報告がありました。

研修②は、「ケータイの安全対策～トラブル対処法～」についてKDDIの講師さんから詳しい説明がありました。

この後、グループ討議を予定していましたが、天候の状況を鑑み中止としました。次回は単位PTAの情報交換や問題点を協議いたしました。

研修会に参加された方の感想を紹介させていただきます。

最初は難しいかもしれません、新聞を読み続けることにより子どもたちの読解力を養って、学力を向上させるという事例があります。また、子どもに携帯、スマートホンを持たせるときには、ルール作りをしたうえで、怖さを教えたり、「携帯を見せなさい」と言える関係を作ることが、大切だと実感しました。保護者は常に子どもに注意を向けて安全に携帯を使わせたいものです。(石井中学校PTA会長 岩本義浩)



県P連総会

日P徳島うずしお大会 実行委員会総会

各分科会実行委員会 設立総会

去る六月六日(金) 県教育会

館において、県P連役員・郡市
代議員・表彰者の方々の出席の
もと、平成二十六年度定期総会
が盛大に開催されました。

谷明彦会長のあいさつに続
き、熱心な活動をされた五団体
と十七名の方の表彰と二十五名
の方に感謝状が、そしてPTA
広報紙コンクールに入賞された
六校に感謝状が贈られた。

ご臨席の来賓七名の方を代表
して県議会副議長 木南 征美
様、県中学校長会副会長 生杉
孝晴様からご祝辞をいただき
た後 松下 誠氏の受賞者代表
議事に入り、平成二十五年度
の事業報告・決算報告・監査報
告を承認の後、平成二十六年度
新役員が選出され、次に平成二
十六年度努力目標、事業計画・
予算案等についての協議が行わ
れ、原案どおり承認の運びとなり、
総会を終了した。



徳島うずしお大会実行委員会総会

平成二十六年三月三日(月)

に日P徳島うずしお大会実行委
員会設立総会をし、六月六日
(金)に平成二十六年度日P徳
島うずしお大会実行委員会総会
を開催しました。

各郡市P連の総会において、
分科会実行委員会の設立総会が
開催され、全国大会に向けての
取り組みがなされました。

第一分科会(小松島) 五月十日

第二分科会(板野) 五月十六日
第三分科会(三好) 六月三日
第四分科会(名西) 五月九日
第五分科会(美馬・つるぎ)
五月十八日・六月五日

第六分科会(吉野川) 五月十日
第七分科会(阿波) 五月八日
第八分科会(勝浦・那賀・海部)
五月十三日・十五日・十八日
特別第一分科会(鳴門) 五月九日

五月十六日 特別第二分科会(阿南)
五月十九日 特別第一分科会(阿南)

五月九日 特別第1分科会実行委員会設立総会



特別第1分科会実行委員会設立総会



日本PTA全国大会 長崎大会に参加して

県P連理事 大 湾 晃

「異国情緒豊かな長崎で集い、
語らい、学びあい」をスローガン
に八月二十二日、二十三日の
日程で開催された長崎大会、前
日までの豪雨が嘘の様に晴天に
恵まれました。

二十二日は十会場に分かれ分
科会が行われ、私は大村市が会
場の第八分科会(健康安全)へ
参加しました。大村中学校吹奏
楽部の迫力あるマーチングに始
まり、「タフな子供を育てよ
う!」の演目で元フジギー日本
代表監督の平尾誠二氏による基
調講演を聞きました。

自分の幼少期から今に至るま
で、色んな人と出会い刺激を受
けながら成長してきた事を話し
てくださいました。一番印象的
だったのが、「今の子どもと親
の関係 子どもと先生の関係が
友達化している。子ども自身が
乗り越えなければならない壁を
周りの大人が助け過ぎて、成長
過程で身に着けなければならな
い様々な事の阻害になつてい
る」という言葉でした。私自身
振り返ってみて、子どもにさせ
るより自分でした方が早いと
か、うまくいく、などと考え
いる状況が多くあると気付きま
す。そう思つた根拠を考え
みると、自分に余裕がなく「見
守る」という行為が出来ていな
い、チャレンジさせていない、
親の見栄や責任逃れでそうなつ
ていると感じました。平尾氏は
「ラグビー」というスポーツが好
きだから始めた訳じゃない。見

私たち大人が子どもの成長を
助けるとするならば、魅力を感
じられる機会、それ出会い系
ることができます。
私たち大人が子どもの成長を
助けるとするならば、魅力を感
じられる機会、それ出会い系
することができます。
私たち大人が子どもの成長を
助けるとするならば、魅力を感
じられる機会、それ出会い系
することができます。



笑顔いっぱいの分科会



日P長崎大会

編集後記

広報委員長 宮本 充

今年度のブロック別PTA活
動紹介は、阿南市PTA連合会
と吉野川市PTA連合会は、P
連の活動内容を紹介させていた
だき、板野郡PTA連合会は、
単位PTAの特色ある活動を掲
載しました。

最近は、少子化による会員の
減少で活動に創意工夫をしてい
るように思います。子どもたち
の健やかな成長を願うPTA活
動は、保護者・学校・地域の連
携とコミュニケーションが大切
だと感じました。

今回寄稿いただいた各郡市P
連の方々にはお世話になり、あ
りがとうございました。

徳島県PTA連合会
事務局
〒770-0003
徳島市北田宮1丁目8-68
徳島県教育会館内
TEL(088)633-1105
FAX(088)633-1153
◆事務局の構成
事務局長 中西 由佳